

青春残酷物語 (1960)

メディア 映画
ジャンル 青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 1960/06/03
映倫 PG12

【解説】

大島渚が脚本・監督を担当し、大ヒットを記録した青春映画。この作品により「松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」という言葉が生まれた。

真琴が中年の男にホテルに連れ込まれそうになったとき、彼女を助けたのは清という大学生だった。二人は男から奪った金で遊び、真琴は清に抱かれるが、それ以来連絡が来なくなった。清は人妻と不倫をしていたが、まっすぐな真琴に惹かれ同棲を始める。二人は美人局で金を稼ぐようになるが、真琴が妊娠していることが判明。清に子供を墮ろせと言われた真琴はアパートを出て行った。清は子供を墮ろした真琴と再会しアパートに戻るが、そこにはすでに警官が待ち構えていた。

【クレジット】

監督 大島渚 Nagisa Oshima
製作 池田富雄
脚本 大島渚 Nagisa Oshima
撮影 川又昂
美術 宇野耕司
音楽 真鍋理一郎
出演 桑野みゆき
川津祐介
久我美子
渡辺文雄
田中晋二